

## Ⅱ-7

## グループ学習

今日、自分たちだけでできたから、明日はきっと一人でできるはず！

● 「こんなグループ学習を成立させてみたい！」と率直に教師の願いを子どもに語る。

〈例〉分かったことの「教え合い」「話し合い」から分からないことの「学び合い」「聴き合い」へ

## ★ 夢中！

夢中になると、自然と腰が浮き、友達との距離が縮まっている。

## ★ 自立！

先生の支援がなくとも問題解決する自立への第一歩を踏み出している。

## ★ 向き合う！

互いに視線を逸らさず、誰の意見も流さず、コミュニケーションが成立している。

## ★ 気軽！

クラス全体で話し合うより、発言機会が増え、気軽に話し合っている。

## ★ 集約！

各々の考えをグループの意見として集約・表現する台紙が用意されている。



● 「何のためのグループ学習か？」教師の意図を明確にする。

- 一人一人の立場や意見を確かにして深めたり、新しい考えに気付き広げたりするため
    - ・ まだしっかり固まってない考えや理解の途中の段階の考えを対話の中で表現させ、互いの考えを深めたり広げたりさせたい。
    - ・ 友達との交流を通して、「賛成」「反対」「似ている」「異なる」「結論は同じだが理由は異なる」など、立場や意見をはっきりさせたい。
  - 一人一人の活躍の場を増やすため
    - ・ 課題解決を各グループで分担したり同時進行したりすることにより、一人一人の活動量（実験、観察、制作、意見の表出などによる参加の機会）を保障したい。
  - 対話的な問題解決を通して、共に学ぶことの良さを実感させるため
    - ・ 「同じ考えは心強い」「異なる考えは自分の幅を広げてくれる」「友達が予想外の考えを持っていた」など、共に学ぶ仲間の実感させたい。
    - ・ 一人では解決が難しいことや気付かないことも、仲間となら解決したり、気付いたりできる体験をさせて、「『一人でできる力』と同じくらい『みんなとできる力』が大事だ」と実感させたい。
    - ・ 自分たちで自立して学ぶ力試しの場にし、自信につなげたい。
- ★ 意図を明確にしたら、単にグループ学習の時間をとるだけでなく、その意図を実現するために必要な「仕掛け」を考えましょう。



## 効果的なグループ学習のために

- 素朴な疑問や感じたこと、確認したいことについて気軽に相談できる機会を増やす
  - ・ 「子どもの反応が鈍くなったな」と感じたら…
    - 「その場で近くの人と少し相談してごらん。」(1分程度でも十分！)
    - ※ 表現物を用意しなくてもよいから、机を合わさなくてもよいから、後でグループごとの発表機会を設けなくてもよいから、1時間に一度は相談機会を設けましょう。
  - ・ 「様々な考えに気付かせたい！」と思ったら…
    - 「ノートに考えを書いた人から自由に相手を見付けノートを交換して交流しましょう。」
    - ※ ノートを交換した相手にサインをもらうなどの交流の仕方を工夫しましょう。
- 「教え合い」から「学び合い」へ、「話し合い」から「聴き合い」へ
  - ・ 教える、教えられるの立場が固定化すると、教える子の負担になり教えられる子を受動的にしてしまうおそれがある。

- ・ 分かったこと(どうすれば解決するか)よりも、分からないこと(何が問題か)を話題にして「学び合い」「聴き合い」を大切にする。

(例) 一人一人の意見が流されないように、意図的に一つの机に3人組を作り、互いの声が届きやすい場を設定したり、異性でグループを作れるように男女市松模様で机を配置したりする。



(例) 特に、小学校低学年の聴き合いでは、ペアを基本とし1時間の授業の中で複数回設定する。

- 意見の位置付けを明確にするため、結論から述べる話し方、立場を聴き分ける聴き方を助言する
  - ・ 伝わらない原因には、話す内容の意味が伝わっていない場合と意味は分かるがそれを述べている意図(賛成、反対など、話の流れの中での意見の位置付け)が伝わっていない場合がある。

『賛成です』『反対です』など短く結論から話すときよく伝わるよ。」

「言葉で伝わりにくいな、と思ったら言葉を補う絵や図を黒板に書いて説明したらどうかな。」

『もう一度、言ってください』ではなく『短くまとめて話してほしいのか』、それとも『詳しく具体的に話してほしいのか』をはっきり求めるといいよ。」

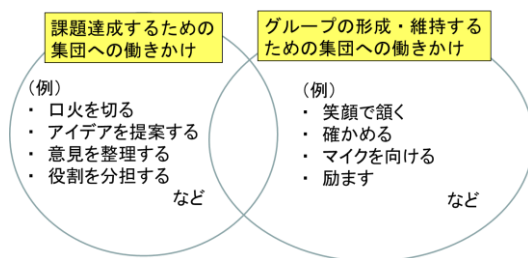
「最後まで話を聞くことは、『あなたには、最後まで話を聞いてもらえるだけの価値がある。あなたが大事。』を相手に伝えているのと同じことなんだよ。」

- グループ学習におけるよい学び方を評価する
  - ・ グループの課題達成や形成維持に役立つ集団への働きかけを価値付けする。

「今日、発言の少ない友達に意見を求めたのは、誰でしたか？」

「笑顔でうなずくなど、友達の意見をしっかり受け止めていた人は、誰でしたか？」

「課題解決のために、新しい提案をしたり、議論の口火を切ったりした人は、誰でしたか？」



### ワンポイント!

#### グループ学習の間、教師は何ができるだろう

教師が深く介入しすぎて、子どもたちの大事な自立につながる協働の場をつぶしてはいけません。時には見守ることも大事な支援です。教師にとって期待する反応ばかりを導き出そうとする支援は厳に慎み、反応把握に努めます。そして、振り返りの際に、「どんなことに困った?そんな時、どうするのがいいのかな。」と子どもと共に問題解決する中で新しいルールを作ったり、「〇〇さんの学び方のよさが分かる?」と価値付けしたりしていきたいものです。